

直売でバンバン売れる！露地でも赤い、丸い、割れにくいハツカダイコン

レッドクイーン

ハツカダイコン

北海道ではハツカダイコンはハウス栽培が中心で市場出荷されています。一方で量販店の地元野菜コーナー向けにも栽培されており、サラダや酢の物向けによく売られています。露地栽培ですので歩留まりの変化はありますが、コストが低いのが利点です。

今回取材させて頂いた生産者様は、夏期の露地栽培でも割れにくく、変形しない品種を探していたところ「レッドクイーン」を栽培され、その特性を高く評価されましたのでご紹介します。



「レッドクイーン」はこんな点を評価されています！

- ① 播種時期が4月から9月と広く、どの時期でも球形が安定している。
- ② 多少の土壤水分の変動でも割れにくく、歩留まりが高い。
- ③ 球の色はきれいな赤色で、ス入りが遅く、歯切れがよい。



3日おきに3万粒播種しています。



洗いあがりきれいです。

日量2,000袋出荷、年間2,000万円の売上目標達成のために「レッドクイーン」は不可欠な品種です。

従来品種では変形球や割れが発生しやすい夏期の栽培で品質を維持することが困難でしたが、春～秋蒔きまで「レッドクイーン」を継続して使用することで、長期間にわたり高い歩留まりを確保することが可能になりました。



露地栽培では葉は10cm程度になります。



5玉入り100円で販売しています。